

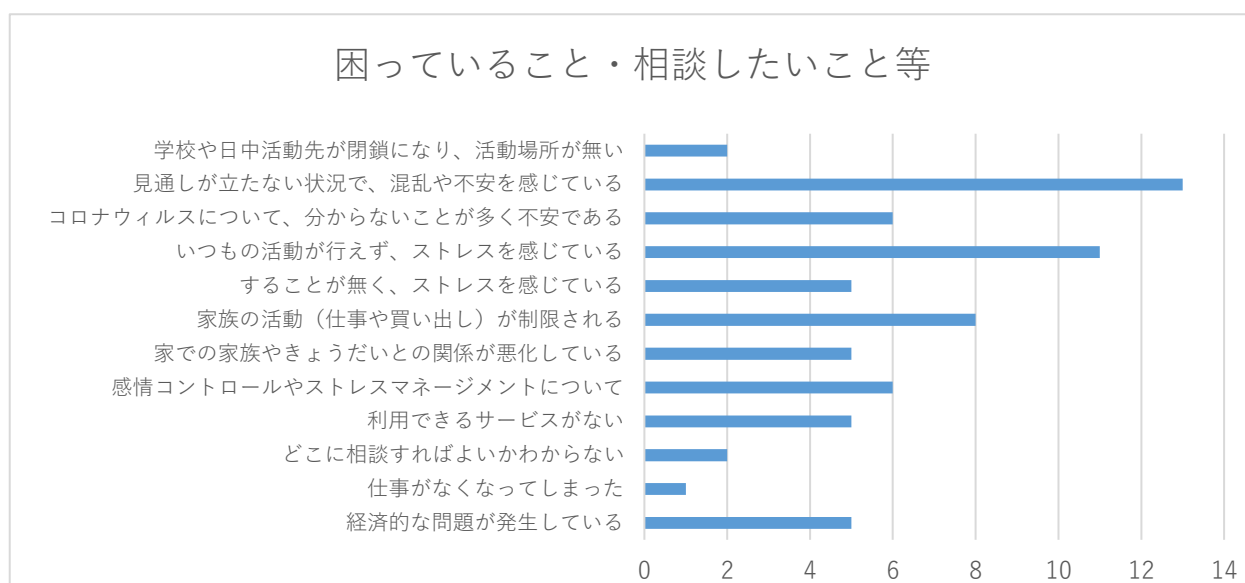
## アンケート集計結果

「感染症の流行とそれに伴う自粛生活等における、発達障害児者やその家族、関係支援者の現状と支援ニーズについての実態把握のためのアンケート調査」

### 【当事者向け】

有効回答者数 20人

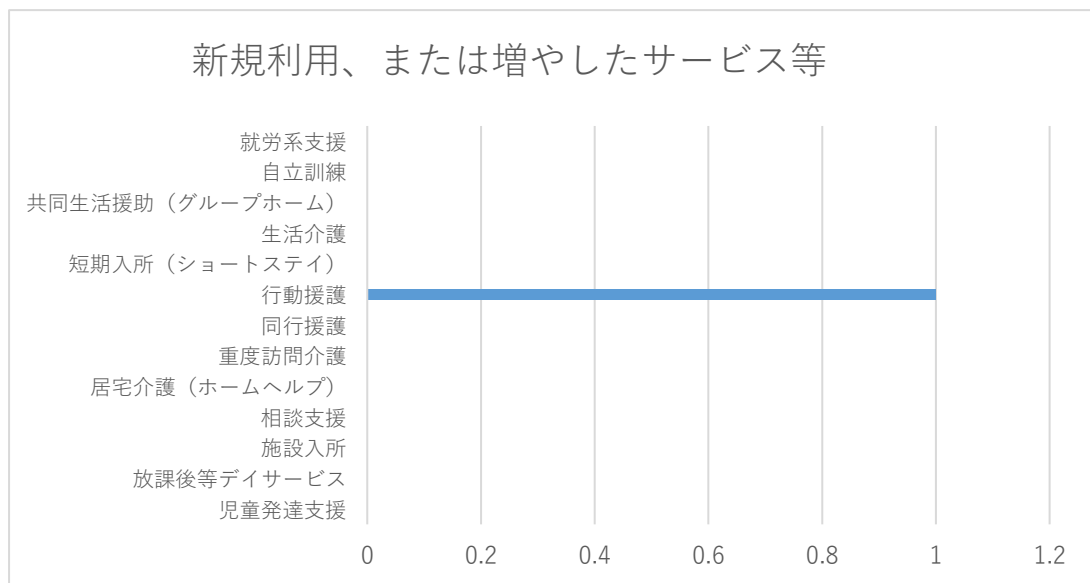
Q1. 感染症の流行により、困っていることや、相談したいこと等について、当てはまる項目すべてにチェックをしてください。（複数選択）



その他： ※主なものを抜粋

- ・コロナウイルスに関しては職員が説明してくれるので不安はないが、制限が多すぎて困る。
- ・買い物やプール活動などやれないことが多くてストレスを感じた。
- ・家族に会えず、寂しさや困り感が多かった。
- ・元々人員削減を進めていた職場で、今年に入ってから嫌がらせが続き、ケガや体調不良もあり、4月で退職。働くということでの社会との接点こそ減ったが、在宅での就労等を考えるいいきっかけになっている。
- ・マスクや消毒液の不足が不安でした。今は段々手に入るようになって来ましたが、マスクの値段が高すぎると思います。公正取引委員会に、引っかけられないのか疑問です。
- ・マスクとフェースシールドを用意して相談をお願いしようとしても、相談先が全て中止となり孤立無援四面楚歌の状態です。感染の恐怖よりも精神的な支援がなく自死を検討してしまう。散歩先がほぼ全て閉鎖。
- ・発達障害に関して相談している通院先、発達障害支援センターの通所が全て保留や延期になってしまい、新たに受けたい支援があったが一切相談できない。
- ・自作の小説をネット上に投稿したいという気持ちが強くなり、ネットの利用制限をめぐって親とぶつかった。

Q2. 感染症の流行により、新たに活用した、または頻度や時間を増やしたサービス等について、当てはまる項目すべてにチェックを入れてください。(複数選択)



その他： ※主なものを抜粋

- ・以前から利用していない
- ・半年前から利用している障がい者向けの訪問看護に救われています。
- ・サービス利用は増やしていないが、職場で話を聞いてもらうなどして心を落ち着けていた。
- ・通院先の医療機関

Q3. 感染症の流行や自粛生活において、工夫されたことやアイデア、役に立った情報や情報源等があればお書きください。(自由記述)

※主なものを抜粋

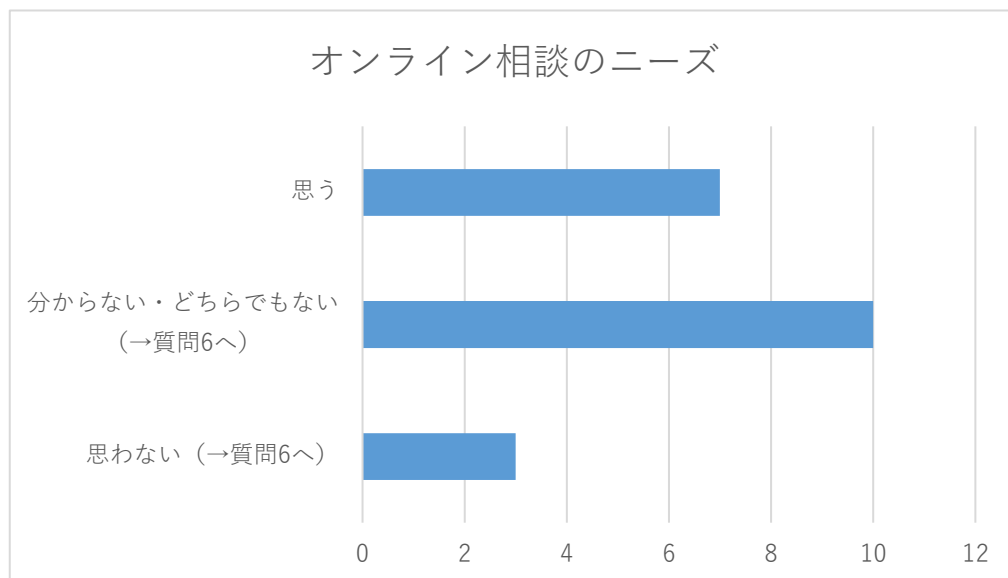
- ・手洗い、うがい、マスク着用、十分な睡眠、ご飯をしっかり食べることを心掛けました。
- ・元々引きこもっているので、変わらない生活だった。逆に動画を見て体を動かしたり、野菜栽培 (豆苗等)、マスクづくりなどお金をかけない楽しみが増えた。
- ・友人と会えないので、ライン電話で、たくさん話をした。オンライン飲み会をやってみて、楽しかったです。
- ・買い物に何度も行かないように、一度の買い物で、沢山の食料品、日用品を買った。通信販売の利用率が増えた。手紙を書いた。
- ・YouTube の内科医や精神科医の動画、薬剤師による詳しい情報等で救われました。
- ・料理サイトの簡単調理法や変わり種の一品などを参考にして自宅での食事作りに活かした。
- ・ヨガ、瞑想。
- ・フェースシールド。40%しかないウイスキーを手洗い後に手にまぶす。
- ・自分が一人で夢中になれるもの (マスク作り) / 家族から離れる時間 (一人でドライブ)
- ・コロナに対する過剰なテレビやネットの情報を出来るだけ見ないようにする。

Q4. 感染症流行の状況において、必要だと感じる、足りない等と思うサービスや機関、支援メニュー、場所等をお書きください。(自由記述)

※主なものを抜粋

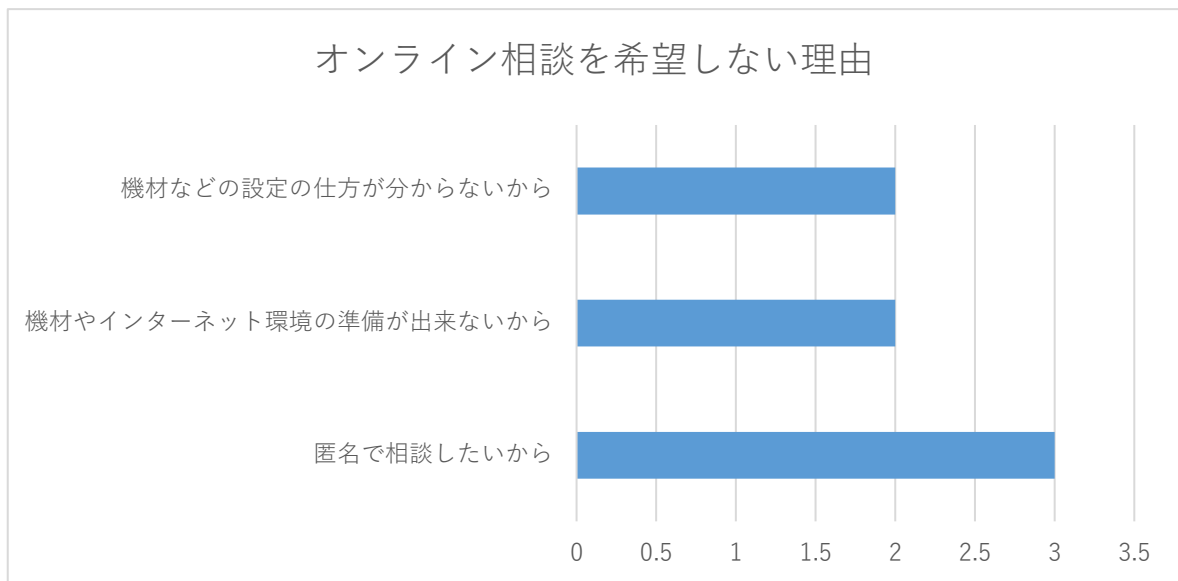
- ・オンライン診療がもっとあっても良いと思うし、今後も、毎月の受診でなくても、定期的なお薬がもらえる様になると良いと思う。
- ・郵便局が10時からしか開いてなかったのが、とても不便でした。
- ・スーパーのレジで会計待ちは、毎回フラフラになる程(人混み苦手)苦痛。何か工夫してほしい。障害者が買える時間帯を作ってほしい。
- ・オンライン授業
- ・自閉症など障害者が感染した場合の対応、また家族が感染した場合の対応
- ・経済的な支援。専門学校や大学等の授業料の大幅な免除、親元に居ない独り暮らしの学生の食費の支援。手数料無料で、電話などで簡単に食材を注文できるサービス。
- ・他人が必要以上に怖がりすぎの癖に外出時マスクしないでマラソンやサイクリングをしている輩が何とかなれば。あとは支援者の勇気の問題。
- ・相談支援が通所のみのため全部行けなくなってしまって困っている。
- ・オンライン相談
- ・A型事業所を利用しているが、感染拡大防止のためにも自粛して欲しかった。職場近くにあるB型事業所は一時期自粛していたが、私の事業所は自粛した日は1日も無かった。

Q5. オンラインでの相談窓口があれば、利用したいと思いますか。



Q6. オンラインでの相談を希望されない理由について、当てはまる項目すべてにチェックを入れてください。

※Q5で「思わない」、「分からない」を選択した人のみの回答



その他： ※主なものを抜粋

- ・相手の顔が見えないと、伝わらないこともある様な気がする。
- ・以前、コロナウイルスの件ではないが、相談した窓口の人の対応が悪かったので、また、不快な思いをするかも知れないとの思いがあります。
- ・個人情報の流出が心配。
- ・発達障害特性を理解した相談受付や相手がいないかもしれないと思うとためらってしまう。
- ・もともと話すのが得意ではない方（一方的に話す、相手の話をあまり聞いていないのに、相手が自分が想像する範囲外からの返答をすると、困惑や怒りを感じる場合がある）であるため、誰か別の人の相談内容を公開するオンラインでの場所、いつでもだれでも見られるような掲示板があれば、自分と同じ悩みや相談をした人の記録を読むことで、安心できると思う。
- ・困りごとがない。
- ・支援者本人であっても私は本人と信じられないしこちらの苦悩が通信だと伝わりにくい。
- ・相談員によって苦手な人がいる。